

<全体分析>

試験時間

100分

解答形式

客観式問題 下線部和訳 和文英訳

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴や昨年との変更点

読解総合問題重視の出題。読解総合に加え、長めの会話問題と英作文が出題されている。

その他トピックス

大問Ⅰはイギリス英語、大問Ⅱはアメリカ英語。大問Ⅱにおいて、本文の各ブロックに小見出しを補充する問題が出題されたが、原文の形式によるもので本学入試の全体的変更と言えるものではない。

<大問分析>

番号	区分	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[Ⅰ]	読解総合 (789語)	記事：環境に優しい虫を食べよう “Eat your green bugs: why Europeans should eat more insects” by Peter Alexsander/ The University of Edinburgh Sep. 12, 2022	A 空所補充(副詞・接続詞) B 下線が引かれた語句の意味・内容に近いものを選ぶ問題 辞書的な意味より文脈に合う適語を選ばなければならない。C 下線が引かれた文の意味・内容に近いものを選ぶ問題 一つ一つの単語の意味をよく考えて選択する必要がある。D 空所に語を入れて文を完成させる問題 不要語1つあり。Whileの働き、比較級の扱いがポイント。 E 内容一致(3/8)	やや難
[Ⅱ]	読解総合 (904語)	記事：健康のための十分な睡眠 “Good Sleep for Good Health” National Institute of Health/ US	A 空所補充(前置詞)このうち(Y)は despite の直後に来る動詞の形を問う問題 (動名詞), (Z)は <if+過去分詞>の形にしたうえで文脈に合う単語を選ぶ問題。B 単語の意味・内容に近いものを選ぶ問題 辞書的な意味より文脈に合う適語を注意深く選ぶ。C 文の意味・内容に近いものを選ぶ問題 be likely to や quite a few など文法の授業で得た知識を問うものもある。D 空所に語を入れて文を完成させる問題 不要語2つあり。最上級と比較級を組み合わせ「一日にこれくらいの睡眠時間が必要」という趣旨の文にする。 E 各ブロックに小見出しを補充する問題 F 内容一致(2/6) G 下線部和訳 (16語) 単語数は昨年と同じだが find OC の読み取りが少し難しい。	標準
[Ⅲ]	その他 英作文	遠くの家族とオンラインでつながる	8か所の空所に入る最も適切な発話を10個の選択肢からそれぞれ一つずつ選ぶ。英訳問題は42字(句読点含む)。「もちろん、みんなに直接会えるほうがいいですけど、私の場合それは現実的ではないのです」は「みんな」「…ほうがいい」「私の場合」の扱いに注意しながら口語を使って英訳する。	標準

注：区分は「英文解釈」「読解総合」「英作文」「文法・語法」「聞き取り」「その他」難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

単語レベルは相対的に高い。長文問題にはネット検索可能な新聞や雑誌の質の高い記事が使用される。最初は読むのに時間がかかることに悩むかもしれないが、最終的には100分の時間内に解き終える力は必ずつくので、それを信じて辛抱強く読み続けること。同志社大学では独立した文法問題は出題されないが、大問Ⅰ、Ⅱを通して文法知識を試す問題が出題される。文法学習は決して軽視せず地道にやっておきたい。文法語法の勉強が足りていないと感じる場合は、現役生なら文法講座を受講するとよい。本文の内容を理解するうえで文法知識は欠かせない。語彙、文法、論理の力が総合的に試されるので、一言一句をゆるがせにせず、丁寧に文章を読む習慣を身につけてほしい。